

[018]学生法政論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7170857>

出版情報：学生法政論集. 18, 2024-03-25. Hosei Gakkai (Institute for Law and Politics) Kyushu University
バージョン：
権利関係：

編集後記

今回は応募論文が1本でしたが、力作だったと思います。

学生時代の柔らかい頭で色々なことを考えながら物を書くという作業は、それ自体がとても貴重な経験です。特に、情報が溢れている現代社会では、不必要な情報を捨てる能力も求められるようになりました。その意味で、良い論文を書くことは、これまで以上に難しいことなのかもしれません。

そのようななかで、今回応募した方や、応募には至らなかったものの、執筆を試みた方々は、さらなる飛躍の機会を得たことでしょうか。来年度も、新たなチャレンジをお待ちしています。(A. E)

論文を提出された方、ご苦労様でした。そして、『学生法政論集』への掲載、おめでとうございます。残念ながら、提出論文の数が年々減少しております。大学時代における論文と執筆と、『論集』への掲載は、間違いなく、一生の思い出になります。ゼミ等で論文を執筆されている方は、少なくないと思います。せっかく執筆したのですから、みなさん、その論文を、提出してみたいかがでしょうか。(K. T.)

自分の意見を表明することが容易な時代、SNSで文章を書くことに慣れた人は多いのではないのでしょうか。しかし論文は違います。どうしても書きたいことがあるとの強い動機を持ち、客観的に資料を読み込み、じっくり考え、考え方を修正し、何を言いたいのかを再構築する。そしてどうすれば分かってもらえるのか、読みやすい文章構成を考え、執筆し、見直して書き直す。そしてこれらの作業を繰り返す。このプロセスはどのような社会生活を送るにも必ず役に立ちます。これを読んでいる学生さんも来年はトライしてみてください。(KM)

今年も「学生法政論集」にご応募頂き、有り難うございました。大変興味深く拝読いたしました。これだけの分量の論稿を仕上げるのには、相応のご苦労があったことと推察いたします。文章で自分の意図を正確に伝えることの大切さとその難しさを実感されたのではないのでしょうか。この経験は、間違いなく、今後に生きてきます。輝かしい未来に向かって、大きく羽ばたいて下さい。(TK)

論文の作成には、これまでに培った知的な能力（そして気力と体力）をフルに発揮することが求められます。テーマを設定し、文献を調査し、資料を読み、議論を組み立て、論証し、適切な言葉を選び、読者を説得する、その一連の作業を経験することは、大学生活の総仕上げになるだけでなく、将来を支える大きな資源となるでしょう。たくさんの投稿を期待しています。(T. K)

論文の視点が、素直な関心から発していることが伝わり興味深く拝読しました。また、この論文が多くのご学生にとって、さらに優れた論文を書き、法政研究別冊学生論集の掲載へ挑戦するきっかけになることを願っております。(SVU)